

2023年 3 月期 第 3 四半期 決算説明資料

2023年 1 月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2023年3月期第3四半期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2023年3月期 計画

- 1) 業績予想

1. 2023年3月期第3四半期 実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年同期比0.2%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、前年のGIGAスクール案件の影響から契約実行高は前年同期並みとなったものの、成約高は前年同期比増加
- ・ ファイナンス事業は、企業融資を中心に営業貸付金が増加し、契約実行高・成約高ともに前年同期比増加

< リース事業 >	契約実行高：	0.5%減	成約高：	8.5%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	9.1%増	成約高：	8.9%増

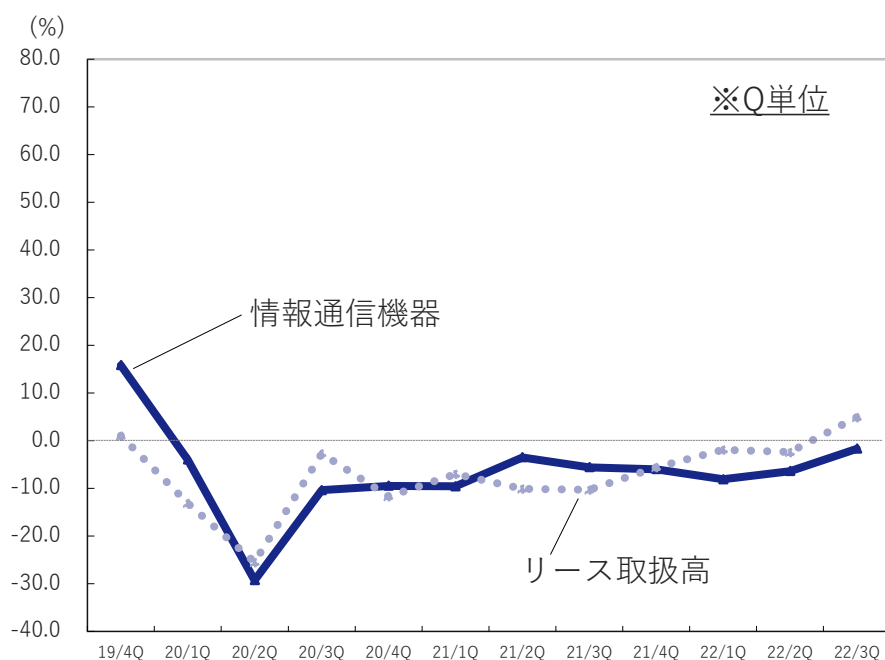
【経営成績】

- ・ 1Qに計上したインベストメント事業の販売用不動産売却等から売上高は伸長
- ・ 各セグメントの着実なGP積上げ及び与信コストの減少から利益面も前年同期比増益

2) 事業環境

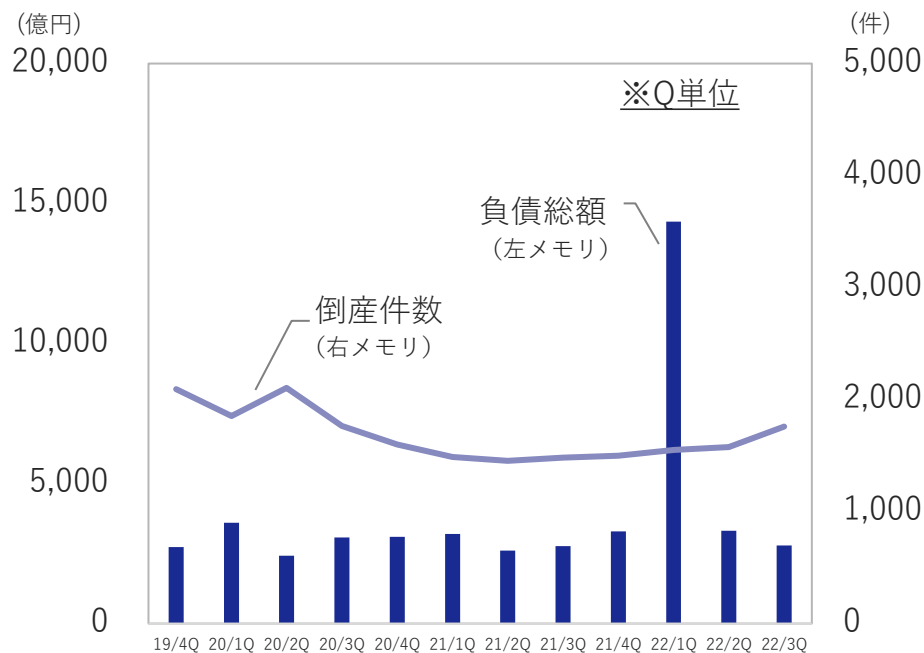
- ・リース取扱高：業界全体は前年同期比0.2%増、当社主力の情報通信機器は前年同期比5.4%減
- ・倒産状況：22年3Q累計における倒産件数は増加、負債総額は1Q発生の大型倒産の影響で大幅増加

■ リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

- ・売上高 : インベストメント事業の伸長等により前年同期比4.5%増
- ・経常利益 : 各セグメントの着実なGP積上げ及び与信コストの減少から、前年同期比13.6%増

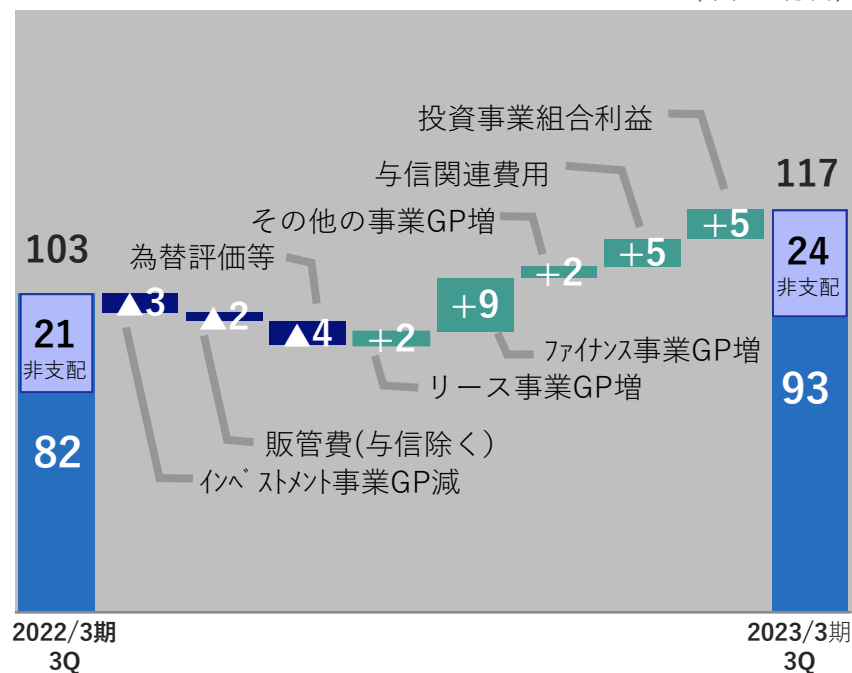
■ 業績数値

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,878	1,962	+4.5%
営業利益	98	111	+13.3%
経常利益	103	117	+13.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	56	57	+1.5%
1株当たり四半期純利益	259円39銭	263円20銭	—
営業資産残高	9,200	9,307	+1.2%
純資産	1,196	1,312	+9.7%
自己資本	1,010	1,097	+8.6%
自己資本比率 (%)	10.1	10.9	+0.8
1株当たり年間配当金 (円)	74	※予想 110	+36

■ 経常利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
リース 事業	売上高	1,690	1,680	▲0.6%
	売上総利益	127	129	+1.8%
	営業利益	59	54	▲8.5%
ファイナンス 事業	売上高	37	50	+33.6%
	売上総利益	30	38	+30.1%
	営業利益	0	16	-
インベストメント 事業	売上高	135	199	+46.8%
	売上総利益	79	75	▲4.1%
	営業利益	50	52	+2.8%
その他の 事業	売上高	15	34	+123.4%
	売上総利益	9	11	+21.7%
	営業利益	0	2	-
計	売上高	1,878	1,962	+4.5%
	売上総利益	244	254	+4.1%
	営業利益	98	111	+13.3%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・2Qに計上した賃貸資産の売却益により売上総利益は増加したものの、営業利益は販管費の増加から前年同期比減少

<<ファイナンス事業>>

- ・金利収益等の増加に伴い売上総利益、営業利益共に前年同期比増加

<<インベストメント事業>>

- ・売上高は、1Qに大型の販売用不動産売却があったことから前年同期比増加。営業利益は、販管費の減少等により前年同期比増加

<<その他の事業>>

- ・新規事業の取り組みが着実に進展し営業利益は前年同期比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,294	1,287	▲0.5%
賃貸事業	1,174	1,119	▲4.6%
割賦販売	120	167	+39.2%
ファイナンス事業	2,427	2,647	+9.1%
営業貸付金	1,689	1,906	+12.8%
一括ファクタリング	738	741	+0.5%
その他の事業	27	38	+42.3%
計	3,748	3,972	+6.0%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,647	1,788	+8.5%
賃貸事業	1,530	1,631	+6.6%
割賦販売	117	157	+34.4%
ファイナンス事業	2,425	2,642	+8.9%
営業貸付金	1,688	1,901	+12.6%
一括ファクタリング	738	741	+0.5%
その他の事業	44	7	▲84.5%
計	4,116	4,436	+7.8%

- ・ 契約実行高は、前年1QにGIGAスクール案件を計上したリース事業は前年同期並みとなるものの、ファイナンス事業が伸長し、前年同期比増加
- ・ 成約高は、リース事業及びファイナンス事業が伸長し、前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
官公庁	625	574	▲8.1%
民需	669	713	+6.5%
サービス業	217	238	+9.6%
流通業	138	118	▲14.2%
製造業	154	171	+10.5%
その他	160	186	+16.4%
計	1,294	1,287	▲0.5%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
官公庁	978	1,061	+8.5%
民需	669	727	+8.5%
サービス業	199	248	+24.1%
流通業	133	97	▲27.1%
製造業	173	189	+9.5%
その他	164	192	+17.5%
計	1,647	1,788	+8.5%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
情報通信機器	947	916	▲3.2%
電子計算機及び関連装置	498	425	▲14.5%
ソフトウェア	364	384	+5.5%
通信機器及び関連装置	85	106	+25.6%
事務用機器	107	126	+17.7%
その他機器	240	245	+1.9%
計	1,294	1,287	▲0.5%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は、前年1Qに計上したGIGAスクール案件の影響から減少
- ・民需は、流通業を除き増加したことから前年同期比増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は、大型の自治体案件獲得により前年同期比増加
- ・民需は、流通業を除き増加したことから前年同期比増加

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	149	167	+11.6%
個別ファクタリング	709	741	+4.5%
一括ファクタリング	738	741	+0.5%
企業融資	751	913	+21.6%
その他	80	85	+5.9%
計	2,427	2,647	+9.1%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	前年同期比
官公庁	11	15	+37.7%
民需	1,679	1,891	+12.6%
サービス業	127	159	+25.3%
流通業	141	156	+11.0%
製造業	802	788	▲1.8%
金融業・保険業	254	280	+10.6%
不動産業	218	272	+24.7%
その他	137	236	+71.7%
一括ファクタリング	738	741	+0.5%
計	2,427	2,647	+9.1%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ 企業融資を中心に伸長したこと等から前年同期比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・ 民需において、その他を中心に製造業を除く全ての業種が増加し前年同期比増加

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 3Q	2023/3期 3Q
アセットビジネス	売上高	98	78
	売上総利益	56	53
	営業利益	36	37
不動産	売上高	35	117
	売上総利益	20	20
	営業利益	16	16
アドバイザリー	売上高	3	3
	売上総利益	3	3
	営業利益	▲1	▲1
のれん他	売上高	0	0
	売上総利益	0	▲1
	営業利益	▲0	▲0
連結ベース 計	売上高	135	199
	売上総利益	79	75
	営業利益	50	52

売上高は、販売用不動産の売却等に伴い前年同期比増加、営業利益は販管費の減少等により前年同期比増加

<<アセットビジネス>>

- ・前年同期に大型のEXIT案件等があったものの、販管費の減少により営業利益は前年同期比増加

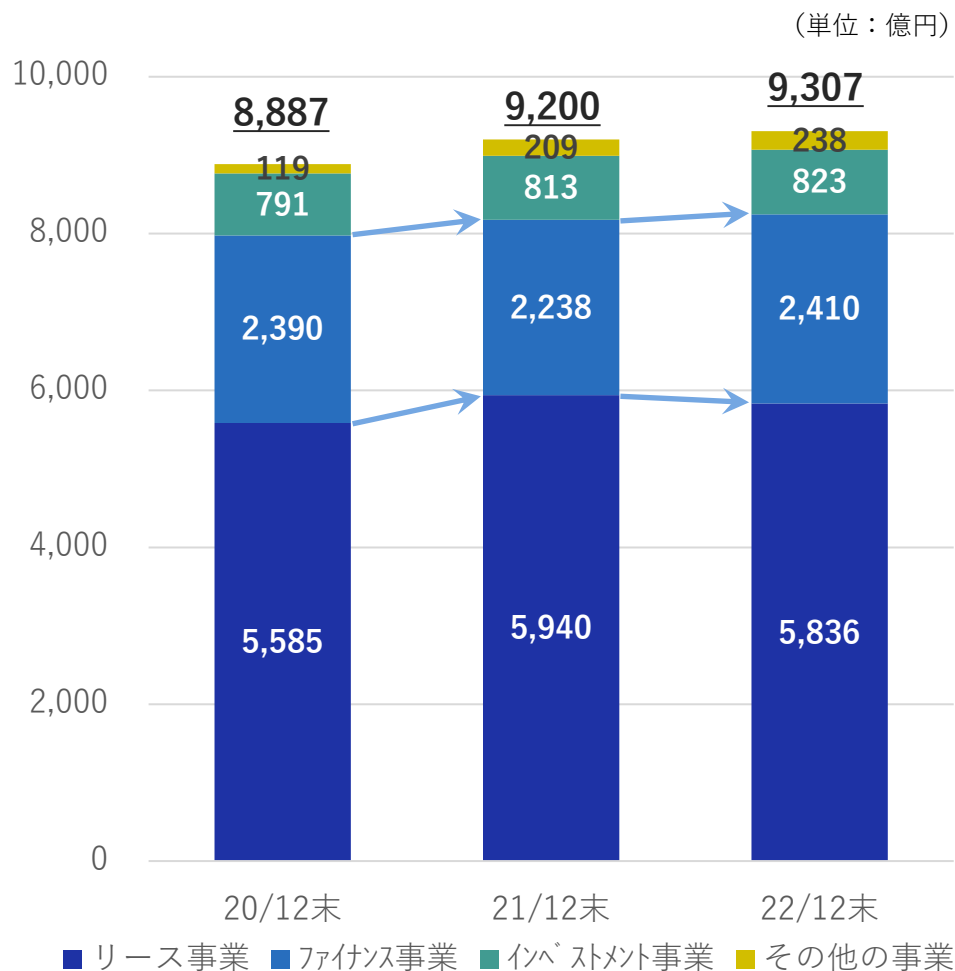
<<不動産>>

- ・大型売却があったことに伴い、売上高は前年同期比で大幅伸長

<<アドバイザリー>>

- ・前年同期並みの推移

9) 営業資産残高の状況



<<リース事業>>

- ・ 大型の物件売却があったものの
ほぼ前年同期並みを確保

<<ファイナンス事業>>

- ・ 企業融資等を中心に国内外のアセット
増加により、前年同期比172億円増加

<<インベストメント事業>>

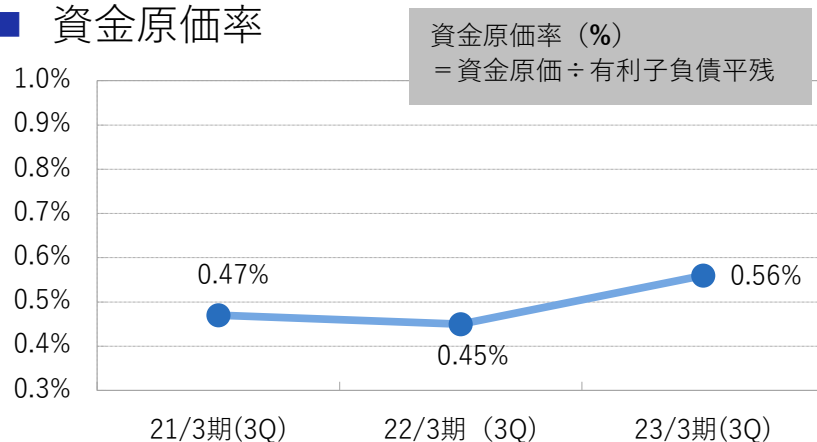
- ・ 投資有価証券等の増加により前年同期
比10億円の増加

<<その他の事業>>

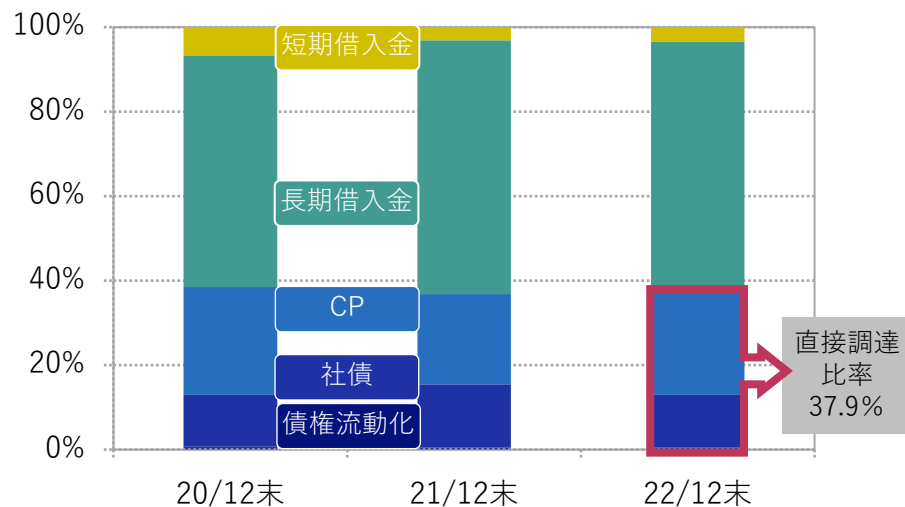
- ・ 新規事業の取り組み進展に伴い前年
同期比30億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

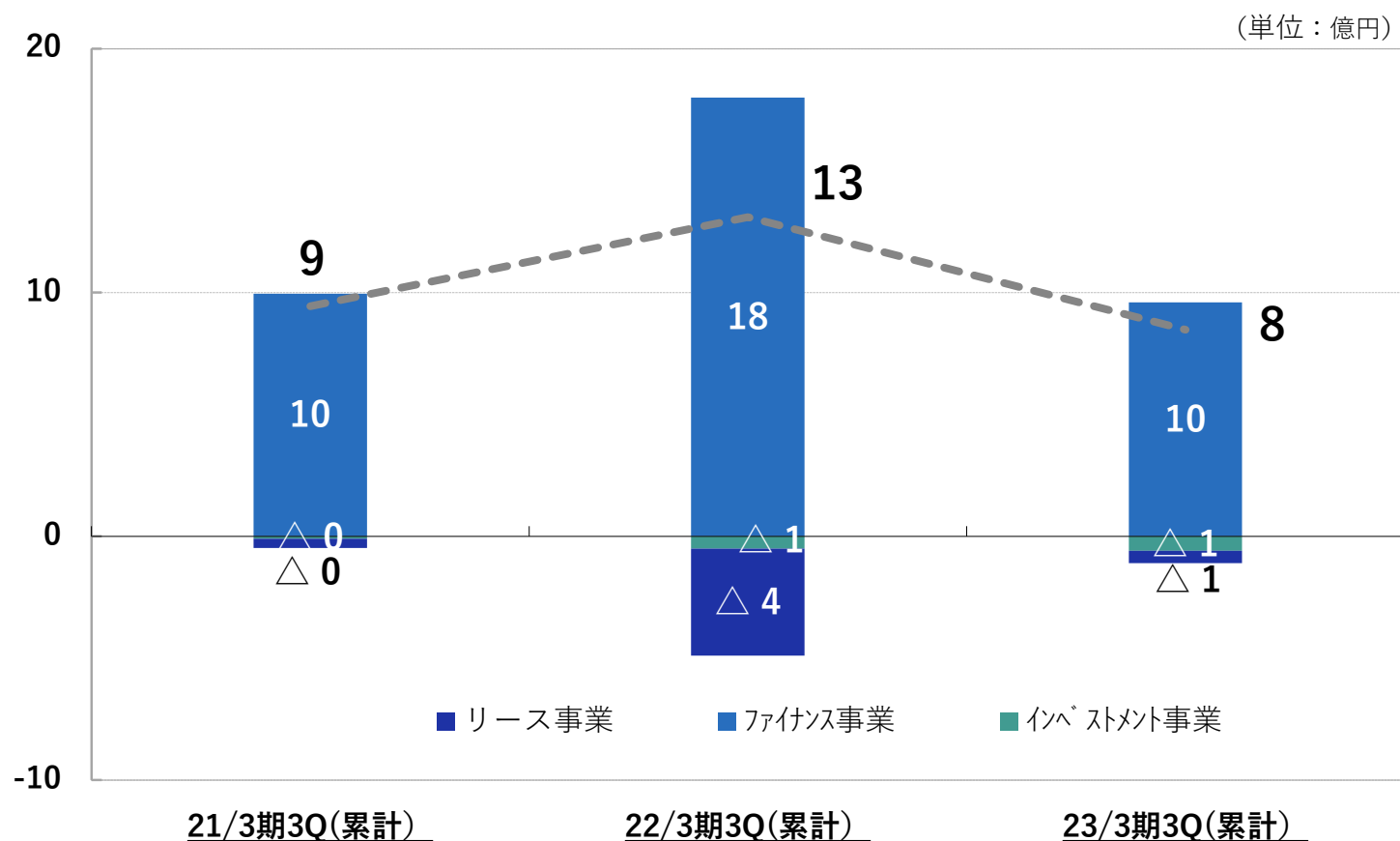
(単位：億円)

	2021/12末	構成比	2022/12末	構成比	増減
短期借入金	252	3.1%	272	3.4%	+21
長期借入金	4,837	60.0%	4,741	58.8%	▲96
CP	1,720	21.4%	2,010	24.9%	+290
社債	1,201	14.9%	1,002	12.4%	▲199
債権流動化	47	0.6%	44	0.5%	▲3
計	8,056	100.0%	8,069	100.0%	+13

- ・ 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年同期比0.11ポイント増加の0.56%
- ・ 直接調達比率は、CPの増加等に伴い前年同期比増（2021/12末 36.8% → 2022/12末 37.9%）

11) 与信関連費用

- ・リース事業の戻入益は減少したものの、ファイナンス事業を中心に大幅改善



2. 2023年 3 月期 計画

1) 業績予想

・ 3Qの実績並びに足元の経営状況を鑑み連結業績予想を上方修正、それに伴い配当計画も増配予想に修正

(単位：億円)

■ 業績予想

	2023/3期 3Q	2023/3期 予想 年間		
	実績	修正後	修正前	増減
売上高	1,962	2,600	2,500	+100
営業利益	111	130	110	+20
経常利益	117	135	110	+25
親会社株主に帰属する純利益	57	75	65	+10
1株当たり純利益 (円)	263円20銭	348円37銭	301円91銭	-

■ 1株当たり配当金

	2023/3期	2023/3期 予想		
	実績	修正後	修正前	増減
第2四半期末	32円00銭	37円00銭	37円00銭	-
期末	42円00銭	73円00銭	37円00銭	36円00銭
年間	74円00銭	110円00銭	74円00銭	36円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン

お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

\Orchestrating a brighter world

NEC